東濃圏域推進区域対応方針に係る主な取組状況について

(令和 7 年 8 月時点)

東濃西部（多治見市）

＜多治見市＞

- 看護師確保について、県立多治見病院では、ホームページや SNS 等の活用、就職ガイダンスへの参加や学校訪問など大学等の各種養成機関との繋がりを強化。多治見市民病院では、地域の看護学校との連携強化を図り、実習生の受け入れ体制を整備、また奨学金制度を新たに創設。
- 東濃・可児地域病病連携推進会議を定期開催し、近隣の医療機関との間で急性期医療、回復期医療の提供体制について意見交換等を実施。また、病診連携システム等を活用し、近隣の医療機関との協力体制の充実を図っている。

東濃中部（土岐市、瑞浪市）

＜土岐市・瑞浪市＞

- 公立東濃中部医療センターの建設状況について（参考資料 9 - 2）

東濃東部（中津川市、恵那市）

＜中津川市＞

- 坂下診療所について、諸般の事情により、令和 7 年 7 月 11 日に事業譲渡による民営化を断念した。引き続き地域の医療を守るため、同診療所の運営形態や事業内容について多様な方向性を検討する。
- 令和 7 年度の岐阜県の病院間連携促進支援業務に中津川市民病院が対象病院として決定されたので、広域的に病院間での連携方法について検討する。

＜恵那市＞

- 恵那市地域医療ビジョン及び恵那モデル実施計画を令和 5 年、6 年で策定し、公立医療施設の経営改善と医療資源の最適化を掲げており、今年度から経営課題に対する状況を確認しながら進めていくこととしている。